

経営比較分析表（令和元年度決算）

宮城県 綾町

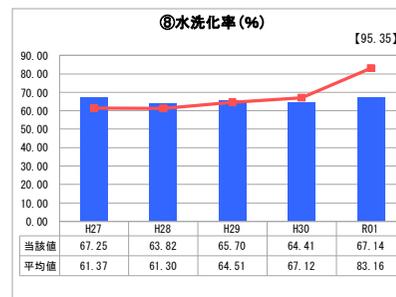
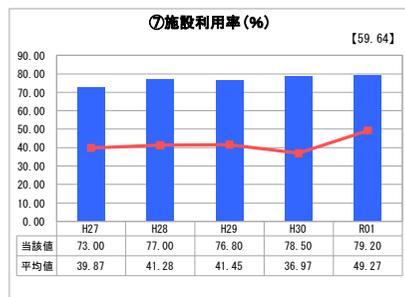
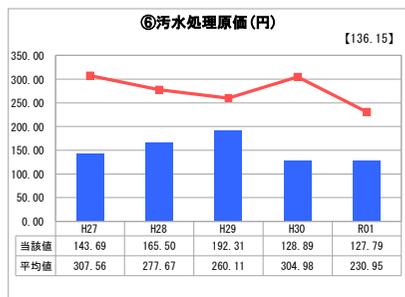
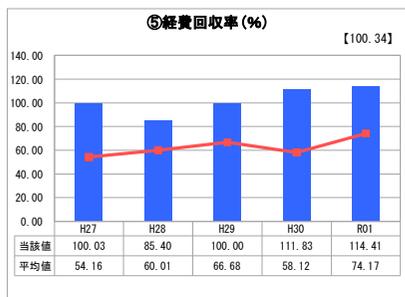
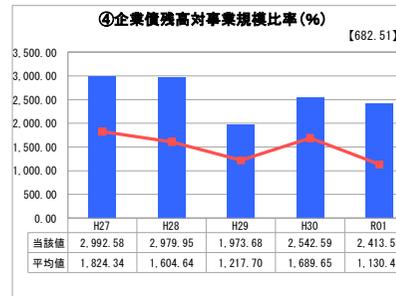
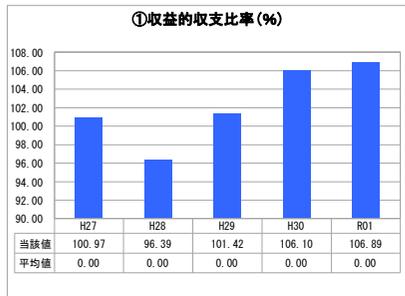
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	58.29	105.61	2,680

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,318	95.19	76.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,218	1.83	2,304.92

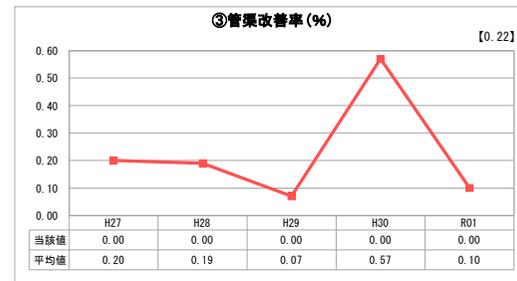
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
100%を超えており健全性は保たれています。加入戸数（加入率）の増加に比例して、使用料も増えていくため、今後も改善傾向が続くと予想していません。
- ④企業債残高対事業規模比率
平成30年度で施設整備に伴う投資時期が終了したため、今後は減少していく見込みとなっています。
- ⑤経費回収率・⑥汚水処理原価
汚水処理原価が類似団体と比べ安価のため、経費回収率は比較的高い状況です。今後は、新たに繰入確保に努めるとともに、浄化センター等の管理を包括的民間業務委託に移行することで経費節減や事務負担を軽減しつつ、より安定的な維持管理に努めていきます。
- ⑦施設利用率
類似団体と比較すると施設利用率は高い状況にあり、規模は適正です。
- ⑧水洗化率
加入促進に取り組むことで更なる改善に努めます。

2. 老朽化の状況について

平成30年度で管渠や汚水処理施設整備などの面整備は終了しましたが、浄化センター内にある脱水機等の大型機器や、町内7箇所にある中継ポンプについては、老朽化に伴う更新時期にきています。この老朽化対策については、包括的民間業務委託の移行に併せて令和2年度に更新計画を立て、翌3年度から順次更新を行うこととしています。なお、耐用年数を経過した管渠はありませんが、清掃等を通して適正な維持管理を続けて参ります。

全体総括

綾町公共下水道事業経営戦略（平成29年度策定）では、経営戦略期間中（平成30年度～令和9年度）に使用料の改定を行うこととしておりますが、公営企業法への移行にあわせて、令和6年度までに見直しを行うこととしております。また、将来的には加入率の上昇による汚水処理量の増加に伴って、処理施設の増設などの可能性もあるため、減価基金（貯金）等の積み増しを行っていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。